NPO やましろ里山の会　週刊ニュース 1076 号　2025 年 03 月 13 日

●木津川希少種植生調査管理業務の完了検査（3 月 6 日 13：00）の結果、合格と認定されました

当日は　大村理事長　森島副理事長　有田・播川・太田理事と植物担当の伊藤千恵子氏、山村常務理事の 7 名が出席しました。検査官は淀川河川事務所副所長の中山様で、担当官の朴文恵様には大変お世話をいただきました。

この業務作業は 6 月 19 日から 11 月 20 日まで続きました。そして 12 月になって刈り取った草の集草、運び出しの大作業を同志社大学サッカー部にお手伝いをいただいて実施しました。総面積は 16,000 ㎡、35 ヶ所というもので、これは各種イベントを開催しつつ、現職を退いた高齢者が力を振り絞って木津川の堤防の傾斜地で悪戦苦闘しました。それは絶滅寸前種とされているレンリソウやフナバラソウ、オオバクサフジ、イヌハギやマキエハギ等の生息地を維持しようとする取組です。困難な除草作業をすすめる一方、35 ヶ所の生息地で確実に保存されているかとの調査確認も毎月顔なじみの皆さんで 35 ヶ所を巡回し、確実に写真記録を取って報告書にまとめております。このような現地での作業と共に資料つくりも非常に大切な作業となっており、合格と認定されました。

里山の会が 20 年前の任意団体の時代に確認してきた植物は 82 ヶ所がレッドデーターブック掲載されていました。それがその後どのように変化しているのかの現地調査が必要は時期に来ていますが、スタッフの多くが高齢化と体力の衰えがあって気は焦るが動けないのが現実です。

●総会に向けて役員の立候補者を受け付けましたが名乗り出ていただけませんでした。それで推薦者の受付を開始いたしますので、この方を理事に推薦すると届け出ていただけないでしょうか。届け出の締め切り日は 18 日の火曜日とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。理事になってほしい人（推薦者氏名）を届け出てください。理事長は理事の互選で決定されます。

●農園部会だより　3 月 1 日（土）里山農園

ジャガイモやその他予定されている作物を植える前の作業として、1 号地と 3 号地では肥料を混ぜて畑を耕しました。3 月２０日（祝）に植え付けを予定していますので、皆さんのご参加をお願いします。

数日続いた雨と、日中が暖かくなってきたからでしょうか？4 号地の湿地部では、ニホンアカガエルの卵を確認することができました。また、補修作業を頑張ったかいがあり、水路や桝にもしっかりと水を確認することができました。

ニホンアカガエルの卵のう

●会誌「里山の自然」58 号の原稿を募集しています

身近な出来事や気なる出来事を手書きで結構ですのでお寄せください。仲間の広場に掲載させていただきます。よろしくご協力ください。原稿を早くいただけると編集がスムースに進められますが、ぎりぎりまでお待ちいたします。原稿は B-5 用紙で上下左右の空白は 25 ㎜になっています。

●自力で炭焼きを実行してから 6 回目にして 200 kgの素晴らしい木炭が出来上がりました。これまで繰り返して炭焼きを経験してきましたが、今回はコナラ等の原木を中心に炭焼きを行いましたところ、今までになく上

等の木炭が出来上がりました。かかわっていただいた皆さんはかなり自信を持っていたのではないでしょうか。

里山の会では手持ちの木炭は 5 kg入りの段ボール箱 100 個分（0.5 トン）程を保有しています。物価高のおり輸入品も値上っていますが、同等価格（5 kg入りで 500 円）で販売させていただくので、ご希望の方はお申し出ください。20 kg以上の場合はご近辺でしたら持参させていただきます。

2025 年 3 月 8 日　原木から切り出す炭焼き体験　窯出し作業

1 月 24 日に原木の切り出し　運び込みの結果、弁朴は最低 1 カ月の乾燥が必要です。2 月 22 日に窯詰、23 日に着火、24 日に空気遮断密閉の日程でした。3 月 8 日窯出しでした。これまで空気遮断が遅れ完全位牌になってしまう等の経験失敗を繰り返してきましたが植西さんの指導を受けて、今回はやっと木炭が計画通り生産できました

出来上がったのは 5 kg箱 40 個分 200 kgです。一回の生産で 8 万円程度経費が必要ですのでひと箱 2000 円で販売しないと赤字となる計算なります。

●2024 年度の最後のイベント「里山展」が始まる

京田辺市立中央図書館で恒例の里山展を開催しています。今年の目玉は夏から活動に参加してくれた中学生二年生 2 人の調査観察記録の展示です。是非ご覧になってください。 2 人が里山の会事務所で、5 日間ほどかけて展示ポスターを作成した成果品です。素晴らしいものにできていると思います。

●いよいよ桜の季節も間近に迫ってきています

今年は 4 月 5 日に馬坂川河口（府営団地 16 棟西側）で花見乗船体験を開きます。これまでは摂南大学エコシビル部の学生さんが E ボートの船頭役をやっていただいていましたが、ボランティアの学生が集まらず、今年は一人乗りカヌーを中心に桜の花の下を楽しんでいただくことになります。川の深さも浅くて安全な所での開催です。参加資格は小学 4 年生以上とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。また保護者もご一緒に付き添ってくれることを必須としていますのでご協力ください。子ども一人でのご参加はできません。参加申し込みは fddbw257@yahoo.co.jp まで連絡ください。氏名、年齢、保護者名、住所、電話番号をご記入ください。受付開始は 3 月 20 日から開始いたします。

●春の野草を食する会

早くも三月も中ごろになって気分も天気も暖かくなってきました。里山の会では春一番の里山農園での「春の野草を食する会」を 4 月 1 2 日ごろに計画しています。毎年 30 種類ちかくの新芽を和え物や汁物、てんぷらにして腹いっぱいいただきます。参加受付開始はこの週刊ニュースでお知らせいたしますので注目ください。先日の第 27 回自然と環境講演会は「自然の中で子どもは育つ」として開きましたが、それのきっかけとして最適なものとなるのではないでしょうか。みなさんのご参加を里山農園でお待ちしています。